

《九州不動産公正取引協議会加盟紙》鹿児島市の住宅207,676世帯に配布

◎配布地域以外にお住まいの方でRENETをご覧になりたい方は送料実費(切手代)で定期的に郵送致します。詳しくは弊社までお問い合わせください。

◎REWEBでも物件を見ることができます。

<http://k-netwave.co.jp/reweb/>

年間20棟以上完成の業者ランキング

順位(前年)	会社名	所在地	決算期	棟数
1(1)	山佐産業(株)	肝属郡肝付町	27/4	204
2(6)	(株)七呂建設	鹿児島市	27/4	139
3(2)	三洋ハウス(株)	鹿児島市	28/3	96
4(4)	MBC開発(株)	鹿児島市	28/3	83
5(4)	(有)中央ハウス	鹿児島市	28/3	80
6(3)	(株)晃栄住宅	鹿児島市	28/3	78
7(8)	(株)シンケン	鹿児島市	28/1	72
8(7)	(株)トータルハウジング	鹿児島市	28/2	64
9(9)	丸和建设(株)	鹿児島市	28/3	63
10(11)	(株)センチュリーハウス	鹿児島市	27/5	62
11(14)	(株)国分ハウジング	霧島市	27/9	57
12(10)	三井ホーム鹿児島(株)	鹿児島市	28/3	54
13(13)	南日本ハウス(株)	鹿児島市	27/8	50
14(12)	(株)ベルハウジング	鹿児島市	27/12	44
15(18)	(株)技建	薩摩川内市	27/7	42
16(16)	ニューイングホーム(株)	霧島市	28/3	41
17(17)	(株)松下孝建設	鹿児島市	27/10	38
18(37)	ロイヤルホーム(株)	霧島市	27/5	37
19(25)	(株)タマルハウス	鹿児島市	27/5	32
20(37)	鎌田建設(株)	霧島市	27/5	31
20(29)	(株)三ツ矢ホーム	鹿児島市	27/12	31
22(21)	(株)カナダプレイス	鹿児島市	28/3	28
23(21)	(株)キョクヨウ	始良市	27/8	27
24(33)	旭住宅(株)	薩摩川内市	27/8	25
24(33)	(株)正栄ハウス	鹿児島市	27/7	25
26(25)	(株)白木建設	鹿児島市	28/3	23
26(23)	深田建設(株)	奄美市	27/7	23
26(25)	(株)ベガハウス	鹿児島市	27/4	23
29(-)	(株)クオリティホーム	霧島市	27/10	22
29(33)	(株)丸三建設工業	奄美市	27/11	22
31(-)	建桜(株)	鹿屋市	28/3	21
32(29)	(株)住まいず	霧島市	27/5	20
32(29)	(有)リアルナンニチ	霧島市	27/7	20

(-)は前年ランキング外

1位ヤマサ、2位七呂、3位三洋

県内住宅会社の27年度完成棟数ランキング

鹿児島市内 上位10社で26棟増941棟
9社占める

東経支店

東京経済(株)鹿児島支店は、県内住宅会社の平成27年度完成棟数ランキングをまとめた。1位は山佐産業(現ヤマサハウス)204棟、2位は前年6位の七呂建設が139棟、3位三洋ハウス96棟、4位MBC開発83棟、5位中央ハウス80棟の順。9位までは前年度と同じ顔ぶれ。10位にセンチュリーハウスがランクインし、これまで通り鹿児島市内で9社を占めた。上位10社合計は前年度比26棟増の941棟。

対象22社減134社

調査は、鹿児島県内に本社を置く建設業許可業者の工事実績に基づき、決算期が平成27年4月～28年3月内の個人住宅完成棟数に焦点を当ててランキング。上位ラ

ンクに独自の取材を加え、業績や財務内容などのデータと併せて「住助2016年版」に収録している。近日中に販売を始める。主要調査対象の

10棟以下が全体の53%

完成100棟以上は2社(前年度比1社増)、50棟以上11社(1社減)、20棟以上20社(12社減)、10棟以上29社(4社減)、5棟以上72社(6社減)で、5～9棟が全体の半数を超えて53.7%になった。

イシン58棟伸び

20棟以上完成で棟数を伸ばしたのは13社。イシンホームを展開する七呂建設の58棟(71.6%)、ロイヤルホーム15棟(68.2%)、センチュリーハウス10棟(19.2%)が高い伸びとなった。また同条件で棟数の減少はトータルハウジング16棟、晃栄住宅11棟、深田建設8棟、ベルハウジングと白木建設、ベガハウスが各7棟など17社。

「住助16年版」2カ所で販売中

「住助2016年版」は(株)ネットウェーブ(電話番号099・255・7744、担当・有馬)で申込受付中。

同数が3社。

20棟以上の本社所在地は鹿児島市が19社(前年度比7社減)で6割弱を占め、霧島市7社、薩摩川内市と奄美市が各2社、始良市と鹿屋市、肝付町各1社となっている。

同支店は「全般的に前年中位クラスの業者の苦戦が窺える」棟数が増加したなかには支店拡大や営業社員の増員などの努力がある。「品質保持、将来のメンテナンスや職人確保の問題から意図的に棟数を抑えた企業もある」とコメントしている。